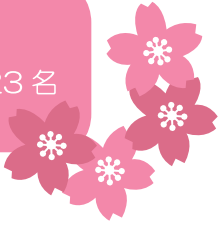


第16回入学式挙行

4月6日に第16回木曾青峰高等学校入学式が挙行されました。全日制普通科34名、理数科23名、森林環境科26名、インテリア科26名、定時制普通科2名の計111名の新入生が入学しました



木曾青峰高等学校長 栗山 嘉章

入学を許可いたしました全日制109名、定時制2名の併せて、111名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございませう。入学生の皆さんに二つのことをお話ししようと思います。

ひとつめは、「主体性」の大切さです。中学までは当たり前だったかもしれない、「与えられたり、指示されたり」するのを待っている、という姿勢から脱却し、自分の意志や判断で積極的に物事に取り組む姿勢を身に付けてほしいと思います。同じ環境でも、その意欲や集中力、学びに向かう姿勢などによって、学びの達成度や充実感は異なります。我々には、みな等しく一日であれば、二十四時間という同じだけの時間が与えられています。その中身をどれだけ充実したものにするかは、その人の考え方や姿勢によって決定します。同じ高校生活を送るとしても皆さんには、より主体的で深い学びを行ってほしいと考えます。その為には、何の為に自分は学ぶのかという明確な目的が必要で、学ぶ目的は、大きく言って二つあると思います。一つは自分自身の人生をより豊かで、よりよいものにするため。もう一つは、自分が暮らす地域や社会をよりよいものにするにより、自分以外の人々に幸福をもたらすためだと考えます。地域というと木曾地区などの自分が生まれ育った場所だけを考えるかもしれませんが、これは木曾だけでなく日本中、世界の各地まで地域を拡げて考えるべきものです。海の内側の悲しい出来事も地域、社会で行われていることです。そこで暮らす人たちがどうしたら幸せになれるか、どうしたらよりよい世界を創れるか、その手段、方法は十人十色、みんな違うと思います。そしてこの違いこそが大切だと思えますが、一人ひとりが、その具体的手段や方法について実感を持って行動できるか否かが、学びの強さを決定づけると思えます。進学することも、仕事をすることも、目的ではなく、手段です。学校での学びや仕事は、その先にある、自分がいかに幸福になるか、そして、どのようにしてよりよい地域や社会を創るかに繋がっています。学びは、「いま」以上に「これから」のために行うものです。目先の利益や取っつきやすさ、答えのすぐ手に入るものだけにこだわら

ずに、他の人のものまねでない、自分自身で考えた道を進んでほしいと思います。

二つ目は、「挑戦」ということです。先に述べた「主体性」につながるのですが、皆さんが、自分なりの志を立て、新しいことに積極的に挑戦していくと、そこには失敗や挫折が付きものです。また、失敗や挫折には、悩みや苦痛や不安が常につきまといまいます。しかし、そうした失敗や挫折を恐れて、尻込みをしてはなりません。人生を前向きに、一生懸命に生きようとすれば、するほど、そこには失敗や挫折がついて回ります。失敗や挫折をすることは、皆さんが、自分の志をしっかりと立て、積極的に新しいことに挑戦していることの証左なのです。挑戦をして失敗や挫折したことよりも挑戦しないで後で悔やむことの方がど

れだけ悔いが残るかわかりません。皆さんは、これから厳しいところから逃げることなく挑戦し、これからの時代に必要となる広い視野と教養、現代の課題を解決できる能力を身に付けてほしいと思っています。

一年二組 小泉 壮次郎【普通科・木曾町中卒】

（入学式 宣誓書より一部抜粋）

私達の中学校生活最後の年も新型コロナウイルスが蔓延している状況にありました。楽しみだった修学旅行は県内になり、全校生徒が心待ちにしていた文化祭も規模を縮小して行うことになるなど思うようにいかないことが多く、寂しい結果に終わってしまいました。ですが先輩方の知恵を受け継ぎ、学年の仲間や先生方の協力を得て、そのような苦しい状況を乗り越えてきました。そのおかげで中学校生活最後の年を気持ちよく終えることができました。そしてその経験から人と協力することの偉大さを知ることができました。

さて高校では学習が専門的かつ高度なものになっていきます。また義務教育が終わり、自分自身で進路を定めそこに向かって進んでいかなければなりません。私自身、まだ将来のビジョンが見えておらず不安を抱えています。この三年間の高校生活でしっかり考えていきたいです。



入学式当日HR



入学式：生徒宣誓



吹奏楽部：校歌演奏

入学式：会場風景

対面式・クラブ説明会 4月7日(木)

生徒会長 3年1組 理数科/牛丸 一真【木祖中卒】

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。青峰高校での生活がスタートしましたね。本校の特徴は、理数科や普通科に加えて専門科があり、さまざまな人がいるところです。そんな環境でいろいろな経験を積み、楽しい3年間を過ごしてほしいと思います。生徒会としても、みなさんが楽しい生活を送れるような学校作りをしていきます。一緒に頑張りましょう。



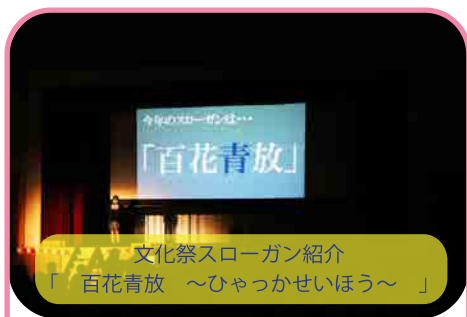
コロナ禍により生徒会役員・文化祭実行委員と新入生のみ参加



生徒会スローガン紹介
「結 ～ゆい～」

「結 ～ゆい～」

一人ひとりの生徒が協力・連携して、生徒全員でより良い生徒会を作っていきたい。



文化祭スローガン紹介
「百花青放 ～ひゃっかせいほう～」

「百花青峰 ～ひゃっかせいほう～」

青峰生の一人ひとりの個性や才能が一斉に開花した蒼陵祭を表す。



新入生歓迎アート

新入生歓迎アート

製作者 文化祭アーチ・アート係長
3年2組 福村 智未
文字協力：書道部

クラブ結成式 4月15日(金)

クラブ説明会後、興味あるクラブに1週間の体験入部し、クラブ結成式に参加しました。

運動部 12団体

- ①バスケットボール
- ②ソフトテニス
- ③バドミントン
- ④バレーボール
- ⑤サッカー
- ⑥ハンドボール
- ⑦陸上競技
- ⑧野球
- ⑨剣道
- ⑩卓球
- ⑪弓道
- ⑫相撲

文化部 10団体

- ①演劇
- ②英語
- ③食物・料理
- ④美術
- ⑤書道
- ⑥被服・手芸
- ⑦茶道
- ⑧天文
- ⑨吹奏楽
- ⑩軽音楽

同好会 7団体

- ①山岳
- ②陶芸
- ③自然科学
- ④合唱
- ⑤文芸
- ⑥スキー
- ⑦コンピュータ

定時制

4月6日に举行された入学式は、晴天にも恵まれ新入生を祝福しているかのようでした。定時制では2名の新入生を迎え、新年度が始まりました。4月7日には生徒会行事の「対面式・クラブ説明会」で先輩方との初顔合わせがありました。上級生の温かいアットホームな雰囲気にも包まれて、新入生も新しい生活を順調にスタートしました。



ガイダンス



入学式



対面式



今年度もスクールマガジンを発行します。このスクールマガジンを通じて本校の様子を中学生及び地域の皆さんに紹介させていただきたいと思っております。また本校のウェブサイトもあわせてご覧いただければ幸いです。

■木曾青峰高等学校 教務室 Tel : 0264-22-2315 / Fax : 0264-21-1056 URL : <http://www.nagano-c.ed.jp/seiho/>